

青森家庭少年問題研究会では、25年7月から、毎週土曜日の午前中、小学生・中学生を対象に、学習支援活動を行っています。

青森市母子寡婦福祉会の協力を得て、ひとり親家庭の子どもたち12人を対象に、ボランティア登録してくれた県立保健大学、青森公立大学、青森大学の学生さんが、子どもたちの学習進度に合わせて1対1を原則に勉強を教えています。

■今年度の主な行事

サタ☆くら通信、すっかり御無沙汰してしまいました。

今年度開催した主な行事をまとめてお伝えします。

○4月はお花見会、6月はスポーツ交流会

4月28日は、恒例の弘前サタ☆くらとの交流お花見会でした。今年は、弘前サタ☆くらの主宰で、弘前公園でのお花見でした。桜の木の下で交流ゲームをし、お弁当を食べた後、渡されたお小遣いで、学生さんと出店を回りました。

6月16日は、青森県立保健大学の体育館をお借りし、子どもと学生さんとで、サッカー、バドミントンに汗を流しました。

○サタ☆くら5周年記念キャンプを開催

「サタディ☆くらぶ」では、毎年デイキャンプを実施してきましたが、今年度は、5周年を記念して、7月14日～15日、モヤヒルズのケビンを借りて、宿泊キャンプを実施しました。

当日は、中体連の県大会開会式が青森市内で開催され、市内の中学生が全校応援をなつたため、中学生は、夜からの参加となりました。暗い中、カレーと焼き肉を食べ、焚き火を囲んで、歓談しました。

行事を通じて、普段とは違う一面を確認

でき、学生さんと子どもたちとの距離も縮まったようです。

○県立保健大学大学祭へのご招待

県立保健大は、今年で創立20周年。いつもより、イベントにも力が入っていたようです。子どもたちと学生さんとで、模擬店やアトラクションを回り、お昼を食べて解散でした。

■青森県民生協さんの御協力

10月からは、青森県民生協さんの御厚意により、生協八重田店の多目的室をお借りして、学習会を行いました。年度内は計3回で、12月29日は、キッチンを利用して、お雑煮やお汁粉を調理したほか、子どもたちと一緒にクリスマスケーキを作りました。

生協さんからは、子どもたちの送迎や昼食やお弁当の提供、年末行事の食材なども提供していただきました。心から、感謝申し上げます。



■編集後記■

今年度は、なかなか通信作成の時間が取れず、行事・出来事をまとめて紹介する結果となりました。これからは、マメに情報提供するよう努めます。(最上)